

令和4年2月2日

令和4年度当初予算（案）の概要

上水道事業会計
工業用水道事業会計
造成土地管理事業会計

千葉県企業局

管理部財務課
電話 043-211-8547

I 上水道事業会計

●予算編成の考え方

上水道事業では中期経営計画（令和3年度～令和7年度）に基づき、「いつでも、安全でおいしい水を安定して供給し、お客様が安心し、信頼を寄せる水道」を基本理念に、3つの基本目標である、①『強靱』な水道の構築、②『安全』な水の供給、③「お客様からの『信頼』の確保」に、計画的に取り組んでいます。

令和4年度当初予算では、中期経営計画の目標の達成に向けて必要な予算を計上します。

〔収益的収支〕

○収益的収入は、給水収益について、新型コロナウイルス感染症の影響が一定程度残る一方、ワクチンの普及による社会・経済活動の回復等を想定し、前年度に比べて4億50百万円増の652億27百万円を見込むなど、前年度に比べて1億93百万円増の829億95百万円を見込んでいます。

○収益的支出は、

- ・委託料が、水道料金システムの更新や浄・給水場施設の維持管理等で、前年度に比べて14億85百万円増の121億79百万円
- ・令和3年10月の地震に伴う水管橋の漏水事故を受け、同様の継手を使用した水管橋について緊急修繕を実施するため2億66百万円

など、前年度に比べて8億26百万円増の791億32百万円を計上します。

○この結果、収益的収支の純利益は、前年度に比べて5億82百万円減の10億81百万円となる見込みです。

〔資本的収支〕

○建設事業費は、

- ・管路の更新・整備が、引き続き、老朽化・耐震化対策を進めるため、前年度に比べて12億17百万円増の351億27百万円
- ・大規模な風水害に備え、浄給水場における非常用自家発電設備等の停電対策の更なる強化で前年度に比べて68億71百万円増の76億76百万円

となった一方、

- ・ちば野菊の里浄水場（第2期）施設整備事業が、施設の稼働を控え、整備が概ね完了したことから、前年度に比べて73億9百万円減の47億66百万円

となったことなどにより、前年度に比べて6億10百万円減の573億15百万円を計上します。

●当初予算（案）の規模等

1 予算規模

(税込み・単位：百万円)

| 区 分 | 令和4年度 当初予算案 ① | 令和3年度 当初予算額 ② | 対前年度比較 | | 備考 | |
|------------|---------------------|---------------------|---------------|-----------|---------|---|
| | | | 増減額 (①-②)③ | 比率 ③/② | | |
| 収益的 収 支 | 収益的収入 | 82,995 | 82,802 | 193 | 0.2% | 給水収益 65,227 給水申込納付金 4,087 長期前受金戻入 7,447 |
| | 収益的支出 | 79,132 | 78,306 | 826 | 1.1% | 人件費 5,958 動力費 2,893 修繕費 8,799 委託料 12,179 減価償却費 28,992 |
| | 収 支 差 | 3,863 | 4,496 | △ 633 | △ 14.1% | |
| | 消費税資本的 収支調整額等 | △ 2,782 | △ 2,833 | 51 | 1.8% | |
| | 純 利 益 | 1,081 | 1,663 | △ 582 | △ 35.0% | |
| 資本的 収 支 | 資本的収入 | 26,079 | 29,387 | △ 3,308 | △ 11.3% | 企業債 22,500 工事負担金 2,208 |
| | 資本的支出 | 69,972 | 70,236 | △ 264 | △ 0.4% | 建設事業費 57,315 企業債償還金 12,406 |
| | 収 支 差 | △ 43,893 | △ 40,849 | △ 3,044 | △ 7.5% | |
| 支出予算総額 | | 149,104 | 148,542 | 562 | 0.4% | |

※資本的収支における43,893百万円の不足額は、消費税資本的収支調整額、減債積立金及び損益勘定留保資金(減価償却費など)で補填します。

2 企業債残高の状況

令和4年度末の企業債残高は、前年度に比べ100億94百万円増加し、1,571億55百万円となる見込み。

(単位：百万円)

| 令和3年度末残高見込 A | 令和4年度当初予算案 | | | 令和4年度末残高見込 A+D |
|-----------------|------------|--------|----------|-------------------|
| | 借入額 B | 償還額 C | 差引 D=B-C | |
| 147,061 | 22,500 | 12,406 | 10,094 | 157,155 |

3 資金残高の状況

令和4年度末の資金残高は、前年度に比べ138億78百万円減少し、218億75百万円となる見込み。

●重点事業

基本目標1 「強靱」な水道の構築

○管路の更新・整備 **351億27百万円** (R3 339億10百万円)
[債務負担行為**163億96百万円** (R3 159億74百万円)]

老朽度や重要度等を勘案し、管路の更新・整備を行っていきます。

○鑄鉄管更新工事(小中口径管) 244億円(債務負担行為99億円)

近い将来発生が懸念される首都直下地震等の大規模地震に備え、湾岸埋立地域の管路や病院・防災拠点等の重要給水施設への管路の更新・耐震化を優先的に進めていきます。

○大口径管路更新工事 45億73百万円(債務負担行為49億2百万円)

○第二木下～柏井導水管整備事業 5億3百万円(債務負担行為76百万円)

○水管橋緊急修繕 **2億66百万円** (R3 ー)

令和3年10月の地震に伴う水管橋の漏水事故を受け、同様の継手を使用した水管橋について緊急修繕を実施します。

○ちば野菊の里浄水場(第2期)施設整備事業

47億66百万円 (R3 120億75百万円)
[債務負担行為**11億34百万円** (R3 49億27百万円)]

老朽化が進んだ栗山浄水場から、近接するちば野菊の里浄水場に機能を移転し、併せて高度浄水処理機能を導入するため、令和4年度は、非常用自家発電設備や場内連絡管などの工事を実施します。

○計画事業費 約446億円(事業期間 平成24年度～令和5年度)

○稼働予定 令和5年度

○浄・給水場設備の更新・整備 **163億51百万円** (R3 121億92百万円)
[債務負担行為**161億86百万円** (R3 233億89百万円)]

老朽化が著しい浄・給水場等について、計画的に電気設備・機械設備等の更新・整備を進めていきます。

○停電対策の強化(一部再掲) **76億76百万円** (R3 8億5百万円)
[債務負担行為 **88億46百万円** (R3 174億9百万円)]

災害等による停電時においても浄水処理や送配水を継続できるように、浄給水場等における非常用自家発電機の増強や燃料タンクの増設などを実施します。

○非常用自家発電設備の増強(再掲) 71億69百万円(債務負担行為88億46百万円)

○非常用自家発電設備の燃料確保 12百万円

○計装設備の電源強化(再掲) 1億45百万円

○新庁舎整備事業 1億40百万円 (R3 59百万円)
[債務負担行為 42億70百万円 (R3 1億24百万円)]

企業局本局機能の分散配置を解消するとともに、危機管理体制を整備・強化するため、県庁近傍の新都市ビル跡地に新庁舎を建設します。

令和4年度は、令和3年度に引き続き実施設計を行うとともに、令和7年度の供用開始に向け、建設工事に着手します。

- 総事業費 約82億円
- 事業期間 令和2年度～令和7年度 (令和7年度供用開始予定)
- 令和4年度三会計合計の事業費 2億53百万円 (債務負担行為 77億36百万円)
 - (内訳) 上水道事業 1億40百万円 (" 42億70百万円)
 - 工業用水道事業 35百万円 (" 10億68百万円)
 - 造成土地管理事業 78百万円 (" 23億98百万円)

基本目標2 「安全」な水の供給

○水質管理の徹底 4億22百万円 (R3 3億4百万円)

お客様に安全な水をお届けするため、水質検査機器の更新及び赤濁水等の発生防止を目的とした管内洗浄等を行い、浄水場から蛇口まで、水質管理を徹底してまいります。

○おいしい水の技術的な取組 (一部再掲) 2億71百万円 (R3 2億57百万円)

お客様に安全でおいしい水を供給するため、塩素濃度低減に向けた管路末端での塩素濃度の測定や、赤濁水等の発生防止を目的とした管内洗浄のほか、貯水槽設置者による貯水槽水道の適正管理等を促進していきます。

基本目標3 お客様からの「信頼」の確保

○水道料金等のクレジットカード収納の導入 1億26百万円 (R3 6百万円)
[債務負担行為 - (R3 62百万円)]

お客様の利便性向上、業務の効率化、コストの削減を図るため、令和4年度中のクレジットカード収納の導入に向け、水道料金システムの改修などを実施します。

○「お客様の声」を活かした事業運営 48百万円 (R3 60百万円)

水道水への信頼と安心、事業への御理解・御協力をいただけるよう、「県水だより」の発行等を通じた広報活動とインターネットモニターによりお客様の声を伺う広聴活動を実施します。

Ⅱ 工業用水道事業会計

●予算編成の考え方

令和4年度当初予算では、「千葉県工業用水道事業施設更新・耐震化長期計画」（平成30年度～令和39年度）及び、この長期計画の具体化である中期経営計画（平成30年度～令和4年度）に基づき、浄・給水場施設及び管路等の更新・耐震化や、大規模な風水害の発生に備えた停電対策などの事業費について、必要な予算を計上します。

〔収益的収支〕

- 給水収益等は、契約水量の増等により8億円増の121億16百万円となる一方、委託料等の増などにより、収益的収支の純利益は、前年度に比べ59億円減の3億32百万円となる見込みです。
- 令和3年10月の地震に伴う水管橋の漏水事故を受け、同様の継手を使用した水管橋について緊急修繕を実施するため、1億38百万円を計上します。

〔資本的収支〕

- 建設事業費は、前年度に比べて21億1百万円増の69億66百万円を計上します。
 - 1 浄給水場等の更新については、
 - ・人見浄水場では、排水処理施設の更新などで21億85百万円
 - ・その他の浄水場等では、南八幡浄水場の沈殿池電気・設備更新などで39億50百万円合わせて、前年度に比べて29億56百万円増の61億35百万円を計上します。
 - 2 管路・水管橋の更新については、
 - ・管路で6億11百万円、水管橋で2億20百万円合わせて、前年度に比べて8億55百万円減の8億31百万円を計上します。
- 大規模な風水害の発生に備えた停電対策の更なる強化のため、浄給水場等における非常用自家発電設備の増強など、前年度に比べて1億32百万円増の3億29百万円を計上します。

●当初予算(案)の規模等

1 予算規模

(税込み・単位:百万円)

| 区 分 | 令和4年度 当初予算案 ① | 令和3年度 当初予算額 ② | 対前年度比較 | | 備考 | |
|-------|---------------------|---------------------|---------------|-----------|---------|---|
| | | | 増減額 (①-②)③ | 比率 ③/② | | |
| 収益的収支 | 収益的収入 | 13,782 | 13,851 | △ 69 | △ 0.5% | 給水収益等 12,116 長期前受金戻入 1,497 |
| | 収益的支出 | 13,069 | 13,084 | △ 15 | △ 0.1% | 人件費 918 動力費 886 修繕費 891 委託料 2,139 減価償却費 5,986 |
| | 収 支 差 | 713 | 767 | △ 54 | △ 7.0% | |
| | 消費税資本的 収支調整額等 | △ 381 | △ 376 | △ 5 | △ 1.3% | |
| | 純 利 益 | 332 | 391 | △ 59 | △ 15.1% | |
| 資本的収支 | 資本的収入 | 3,491 | 3,661 | △ 170 | △ 4.6% | 企業債 105 国庫補助金 249 工事負担金 136 出資金 3,000 |
| | 資本的支出 | 10,818 | 8,879 | 1,939 | 21.8% | 建設事業費 6,966 貯水施設費 242 企業債償還金 1,985 |
| | 収 支 差 | △ 7,327 | △ 5,218 | △ 2,109 | △ 40.4% | |
| | 支出予算総額 | 23,887 | 21,963 | 1,924 | 8.8% | |

※資本的収支における7,327百万円の不足額は、消費税資本的収支調整額、減債積立金及び損益勘定留保資金(減価償却費など)で補填します。

2 企業債残高の状況

令和4年度末の企業債残高は、前年度に比べ18億77百万円減少し、149億81百万円となる見込みです。

(単位:百万円)

| 令和3年度末残高見込 A | 令和4年度当初予算案 | | | 令和4年度末残高見込 A+D |
|-----------------|------------|-------|----------|-------------------|
| | 借入額 B | 償還額 C | 差引 D=B-C | |
| 16,858 | 105 | 1,982 | △1,877 | 14,981 |

3 資金残高の状況

令和4年度末の資金残高は、前年度に比べ16億76百万円減少し、315億14百万円となる見込みです。

●重点事業

○ 施設更新・耐震化事業の実施 69 億 66 百万円 (R3 48 億 65 百万円) [債務負担行為 83 億 79 百万円 (R3 41 億 27 百万円)]

持続可能な工業用水道事業の構築と安定的な工業用水の供給を目指して策定した「施設更新・耐震化長期計画」に基づき計画的に事業を実施します。

(1) 浄水場等施設更新 61 億 35 百万円 (R3 31 億 79 百万円) [債務負担行為 49 億 50 百万円 (R3 26 億 27 百万円)]

①人見浄水場更新 21 億 85 百万円 (R3 19 億 96 百万円) [債務負担行為 皆減 (R3 1 億 4 百万円)]

排水処理施設について、灯油を動力とする熱風乾燥方式から、他の浄水場と同様に電気を動力とする加圧脱水方式に変更し、運転コストの縮減や環境負荷の低減を図るなどの施設の更新を行います。

また、人見浄水場内施設を一元的に監視・操作するための監視制御設備の更新を引き続き行います。

○排水処理施設更新 10 億 68 百万円 (R3 17 億 88 百万円)

○監視制御設備更新 10 億 71 百万円 (R3 1 億 39 百万円)

②その他の浄水場等更新 39 億 50 百万円 (R3 11 億 83 百万円) [債務負担行為 49 億 50 百万円 (R3 25 億 23 百万円)]

○南八幡浄水場 沈殿池電気・機械設備更新 13 億 59 百万円 (R3 2 億 4 百万円)

○西広取水場取水口及び場内配管更新 6 億 46 百万円 (R3 23 百万円)

○佐倉浄水場排水処理脱水設備更新 1 億 16 百万円 (R3 10 百万円)

(2) 管路・水管橋の更新 8 億 31 百万円 (R3 16 億 86 百万円) [債務負担行為 34 億 29 百万円 (R3 15 億円)]

老朽化したコンクリート管等の管路及び水管橋の更新を実施します。

①管路更新 6 億 11 百万円 (R3 15 億 3 百万円) [債務負担行為 18 億 88 百万円 (R3 8 億 3 百万円)]

②水管橋更新 2億20百万円 (R3 1億83百万円)
[債務負担行為 15億41百万円 (R3 6億97百万円)]

○ **水管橋緊急修繕** 1億38百万円 (R3 ー)

令和3年10月の地震による水管橋の漏水事故を受け、同様の継手を使用した水管橋について、緊急修繕を実施します。

○ **停電対策の実施(一部再掲)** 3億29百万円 (R3 1億97百万円)

[債務負担行為 3億52百万円 (R3 3億95百万円)]

災害等による停電時においても浄水処理や送配水を継続できるように、浄給水場等における非常用自家発電機を増強します。

○ **新庁舎整備事業(再掲)** 35百万円 (R3 15百万円)
[債務負担行為 10億68百万円 (R3 31百万円)]

○総事業費 約8.2億円

○事業期間 令和2年度～令和7年度(令和7年度供用開始予定)

○ **給水料金収入等の確保** 121億16百万円 (R3 121億8百万円)

7地区で延べ285社に対し工業用水を供給します。

○ **造成土地管理事業会計からの出資金の受入** 30億円 (R3 30億円)

「施設更新・耐震化長期計画」の着実な実施に向け、財務基盤の強化のため造成土地管理事業会計から30億円の出資を受け入れます。

・受入総額 300億円

・受入年額 平成27年度～令和6年度まで毎年30億円

Ⅲ 造成土地管理事業会計

● 予算編成の考え方

造成土地管理事業では、土地の需要動向等、今後の地域社会における社会経済情勢の変化を見通しながら、経営の一層の健全化を図り、地域経済の発展に資する産業用地・住宅用地等を提供していくことなどを目的として、令和3年3月に「千葉県造成土地管理事業経営計画」（令和3年度～令和7年度）を策定したところです。

令和4年度当初予算においては、本計画に基づき、保有する資産の分譲・処分を着実に進めるために必要となる予算を計上します。

〔収益的収支〕

○収益的収入は、幕張A地区等で見込む新規分譲などの土地分譲収益で117億82百万円など、前年度に比べて29億77百万円増の161億67百万円を計上します。

○収益的支出は、土地分譲原価が54億97百万円、負担金が幕張新都心拡大地区新駅設置負担金等で29億15百万円など、前年度に比べて25億26百万円増の148億59百万円を計上します。

○この結果、収益的収支の純利益は、前年度に比べて4億51百万円増の13億8百万円となります。

〔資本的収支〕

○資本的収入は、工業用水道事業会計貸付金の返還などで、前年度に比べて13百万円減の9億74百万円を計上します。

○資本的支出は、工業用水道事業会計への出資金、千葉ニュータウン関連の公益的施設負担金などで、前年度に比べて93百万円減の41億23百万円を計上します。

●当初予算の規模等

1 予算規模

(税込み・単位:百万円)

| 区 分 | 令和4年度 当初予算案 ① | 令和3年度 当初予算額 ② | 対前年度比較 | | 備考 | |
|--------|---------------------------|---------------------|---------------|-----------|--------|--|
| | | | 増減額 (①-②)③ | 比率 ③/② | | |
| 収益的収支 | 収益的収入 | 16,167 | 13,190 | 2,977 | 22.6% | 土地分譲収益 11,782 土地貸付収益 2,401 |
| | 収益的支出 | 14,859 | 12,333 | 2,526 | 20.5% | 土地分譲原価 5,497 人件費 1,035 負担金 2,915 修繕費 357 委託料 2,212 |
| | 収 支 差 消費税資本的 収支調整額等 | 1,308 | 857 | 451 | 52.6% | |
| | 純 利 益 | 1,308 | 857 | 451 | 52.6% | |
| 資本的収支 | 資本的収入 | 974 | 987 | △ 13 | △ 1.3% | 貸付金返還金 955 |
| | 資本的支出 | 4,123 | 4,216 | △ 93 | △ 2.2% | 工水会計出資金 3,000 公益的施設負担金 1,002 |
| | 収 支 差 | △ 3,149 | △ 3,229 | 80 | 2.5% | |
| 支出予算総額 | 18,982 | 16,549 | 2,433 | 14.7% | | |

※資本的収支における31億49百万円の不足額は、損益勘定留保資金(土地分譲原価など)で補填します。

2 資金残高の状況

令和4年度末の資金残高は、前年度に比べ33億18百万円増加し、967億42百万円となる見込みです。

3 未処分土地の状況

令和3年度末で約170ヘクタールと見込まれる未処分土地については、令和4年度は約8ヘクタール減少し、令和4年度末で約162ヘクタールとなる見込みです。

◎未処分土地の推移

(単位:ha)

| R2年度末 | R3年度末 見込 | R4年度末 見込 |
|-------|-------------|-------------|
| 174 | 170 | 162 |

●重点事業

○土地分譲等の推進 141 億 83 百万円 (R3 116 億 88 百万円)

① 分譲収益 117 億 82 百万円 (R3 91 億 92 百万円)

新規分譲について、幕張A地区で減となる一方、千葉北部地区などで増となることなどにより、25 億 90 百万円増の 117 億 82 百万円となる見込みです。

| 地区名 | 令和4年度当初予算 A | 令和3年度当初予算 B | 増減額 A-B |
|--------|-------------|-------------|---------|
| 幕張A地区 | 6,936 | 7,446 | △510 |
| 千葉北部地区 | 2,332 | 0 | 2,332 |
| その他地区 | 2,514 | 1,746 | 768 |
| 合計 | 11,782 | 9,192 | 2,590 |

② 貸付収益 24 億 1 百万円 (R3 24 億 96 百万円)

千葉北部地区での貸付地の売却などにより、95 百万円減の 24 億 1 百万円となる見込みです。

| 地区名 | 令和4年度当初予算 A | 令和3年度当初予算 B | 増減額 A-B |
|--------|-------------|-------------|---------|
| 幕張A地区 | 1,549 | 1,550 | △1 |
| 千葉北部地区 | 158 | 253 | △95 |
| 京葉港地区 | 236 | 235 | 1 |
| その他地区 | 458 | 458 | 0 |
| 合計 | 2,401 | 2,496 | △95 |

○保有資産の管理等 5 億 52 百万円 (R3 8 億 90 百万円) [債務負担行為 5 億 15 百万円 (皆増)]

保有資産の管理及び公共施設の引継ぎ工事などを行います。

- ① メッセモール及び地下駐車場の管理・修繕等 2 億 28 百万円 (R3 3 億 15 百万円)
- ② 豊砂地区下水道引継補修工事 1 億 90 百万円 (R3 3 億円)

○幕張新都心拡大地区新駅設置負担金 10億31百万円 (R3 3億59百万円)

幕張新都心の交通利便性の向上や活性化につながる幕張豊砂駅（JR京葉線 新習志野駅～海浜幕張駅間）の令和5年春開業に向け、建設工事等に要する費用の一部を負担します。

○千葉ニュータウン関連経費 30億21百万円 (R3 31億88百万円)

千葉ニュータウンの開発に伴い必要となった学校等の公益施設の整備に係る費用の一部を負担します。

①公益的施設負担金 10億2百万円 (R3 11億68百万円)

②北環状線廃棄物処理委託 19億79百万円 (R3 19億79百万円)

○工業用水道事業への出資 30億円 (R3 30億円)

工業用水道事業の財務基盤の充実を図るため、施設更新・耐震化事業等に必要な資金の一部について出資を行います。

出資総額：300億円

出資期間：平成27年度～令和6年度（10年間）

○新庁舎整備事業（再掲） 78百万円 (R3 33百万円)

[債務負担行為 23億98百万円 (R3 70百万円)]

○総事業費 約8.2億円

○事業期間 令和2年度～令和7年度（令和7年度供用開始予定）